

奨励賞



設計担当者

伊藤宏樹

(株)竹中工務店、東京建築士会



共同設計者

宮島照久

(株)竹中工務店
東京建築士会

眞鍋展仁

(株)竹中工務店
東京建築士会

伊東豊雄

(株)伊東豊雄建築設計事務所



物販店舗・飲食店舗・展示場・共同住宅・駐車場／東京都渋谷区

WITH HARAJUKU

構造 | 鉄骨造
一部鉄筋コンクリート造
鉄骨鉄筋コンクリート造

階数 | 地上10階・地下3階
屋上1階

敷地面積 | 4,618.30㎡ (南敷地)
449.69㎡ (北敷地)

建築面積 | 3,914.45㎡ (南敷地)
269.58㎡ (北敷地)

延べ面積 | 25,922.72㎡ (南敷地)
715.83㎡ (北敷地)

竣工年 | 令和2年



- 敷地北西からの鳥瞰。地形や周辺の街のボリュームに合わせて立体的なオープンテラスを配置している。明治神宮の杜を高密度な原宿の街の中に延長し、街にとっての快適な居場所を提供する
- 竹下通り側エントランス。積層する緑の中を通り抜ける
- 3階明治神宮側テラス。風が通り抜けるパサージュ
- 駅前通り側エントランス。木のゲートが来訪者を迎え入れ、並木のような樹列が連続する



選評

原宿駅を出ると、目の前に格子状で陰影のある木の外観が目に入る。3階までは商業用途で、4階からが集合住宅用途の複合建築物。駅前からは、3階テラスにある女性の彫刻が輝いて神秘的に見えた。原宿駅からの表情とは変わって原宿市街地側は屋上庭園とテラスを段上につくり、緑多き丘ができています。竹下通りからも重層した緑やテラスが緑の丘のように見え、思わず寄り道したくなる。

このプロジェクトの肝は「道をつくること」で原宿駅からブルームス通りや竹下通りに抜ける人

の流れをつくること。道の建築をつくることで、建物にとりつく既存の道も、坂のようなどこか懐かしい道として建物と調和してつながっている。味わいが変わった道だけでなく、その道に面した付近の建物がこの建物に影響されて緑化が始まり、緑の丘が市街地に向けて徐々に広がり、設計時点で期待したことが実現し始めているという。

寄り道ができる立体的な道の建築の3階に上がり原宿駅側に向かうと、明治神宮の100年の杜が目の前に広がった。そして駅から見上

げた少女と鳥の彫刻がそこにあった。この彫刻の脇に立つと、杜からの、とても気持ち良く流れる風を感じることができた。杜からの東に抜ける風は、なんと西側の市街地にとって平均気温より2℃程度下げる成果になったとのことだ。都市の杜の恵みを分け与えるという価値ある風の道である。

道の建築をつくることで都市が息を吹き返す、そんな成果を見ることができる建築である。

(三澤文子)